

(様式1)

## 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 053	提案機関名 普及指導部
<b>要望問題名</b> ‘湘南ポモロン’における作型別等による品質変動の解明について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 ‘湘南ポモロン’は知事が命名し、県内各所で試作が行われているが、作型や栽培法(かん水の多少や管理温度等)でも、品質の変化が大きく、これに対応した試験データがないことから、一定品質の生産をすることが難しい状況である。とくに、作型においては、果実糖度や酸度の違いが大きく、管理温度等では、果実形状(くくれ果や先とがり果の発生)、異常果(すじ腐れ果、尻腐れ果)などの変化が大きい。そこで、一定以上の果実品質を保つために代表的な作型(半促成、無加温ハウス、抑制、促成)における内部品質、外観品質などのデータを収集し、一定条件化における品質変動を解明いただき、栽培指導の一助になるようお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	生産技術部 生産環境部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) トマト湘南ポモロンの好適栽培技術の開発、県産農産物の品質特性の解明		
<b>対応の内容等</b>	‘湘南ポモロン’の果実形状及び異常果は、生産技術部でも問題視しており、その一部の外観データは、現在の栽培試験でも収集しています。 品質評価についてはすでに一部実施しており、栽培体系の違いによる品質変化についても現在検討中です。野菜作物研究課と協力して問題解決にあたります。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			